

能登高生の送迎に関する調査 (保護者調査) 報告書



2024年12月

能登町企画財政課 公共交通係

アンケート作成：木村聡（能登高校魅力化プロジェクト コーディネーター）

分析：谷下雅義（中央大学理工学部 教授）

能登高生の送迎に関する調査（保護者調査）報告書

目次

0. はじめに

1. 単純集計

- 1-1. 登下校の交通手段と所要時間
- 1-2. 平日（登校日）に送迎する人
- 1-3. 平日（登校日）の帰宅時に車で迎えに行く頻度
- 1-4. 平日（登校日）の帰宅時に子どもを車で迎えに行く時間帯
- 1-5. 登下校時の車送迎の課題
- 1-6. 車送迎のメリット
- 1-7. 予約制送迎サービスの利用意思と支払い意思
- 1-8. 予約制送迎サービスのドライバーになる意思
- 1-9. その他のご意見

コラム 能登高日課時限表および奥能登北鉄バス時刻表

2. 車送迎への認識および予約制送迎サービスについての分析

- 2-1. 分析の枠組み
- 2-2. 車送迎への認識
- 2-3. 予約制送迎サービスへの支払い意思
- 2-4. 予約制送迎サービスのドライバーになる意思
- 2-5. まとめ

3. おわりに

付録：回答していただいた方の地区と下校（帰宅）所要時間の関係

0. はじめに

能登町では、運転免許証・車をお持ちでない方や車の運転が不安な方のために、バスや予約制乗合タクシーなどの公共交通が運行されています。現在、それらのサービス向上について検討を行っており、本調査は、まだ運転免許証・車をお持ちでない能登高校生の送迎実態や送迎サービスに対するニーズについて把握することを目的として行いました。

調査対象：自宅から能登高校に通学している生徒の保護者

調査方法・日程：Web アンケート（2024年10月29日～11月12日）

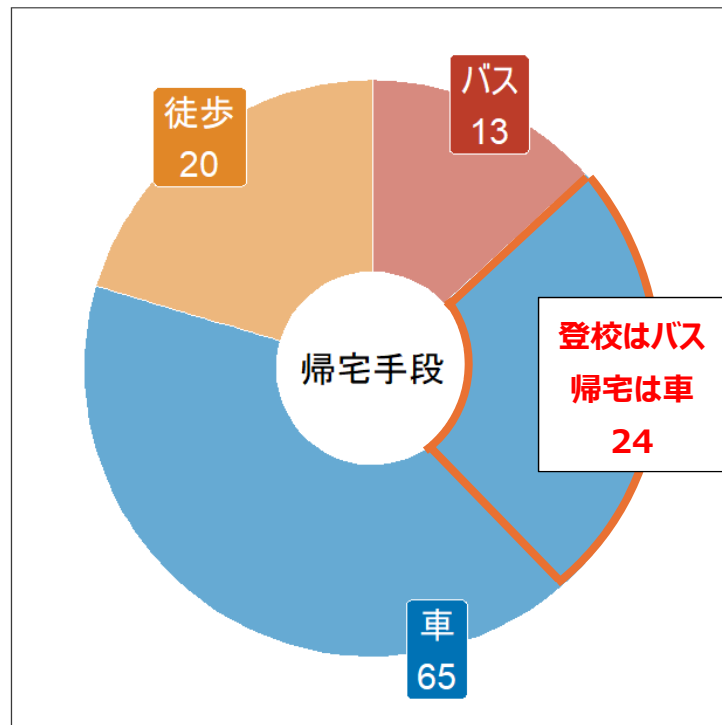
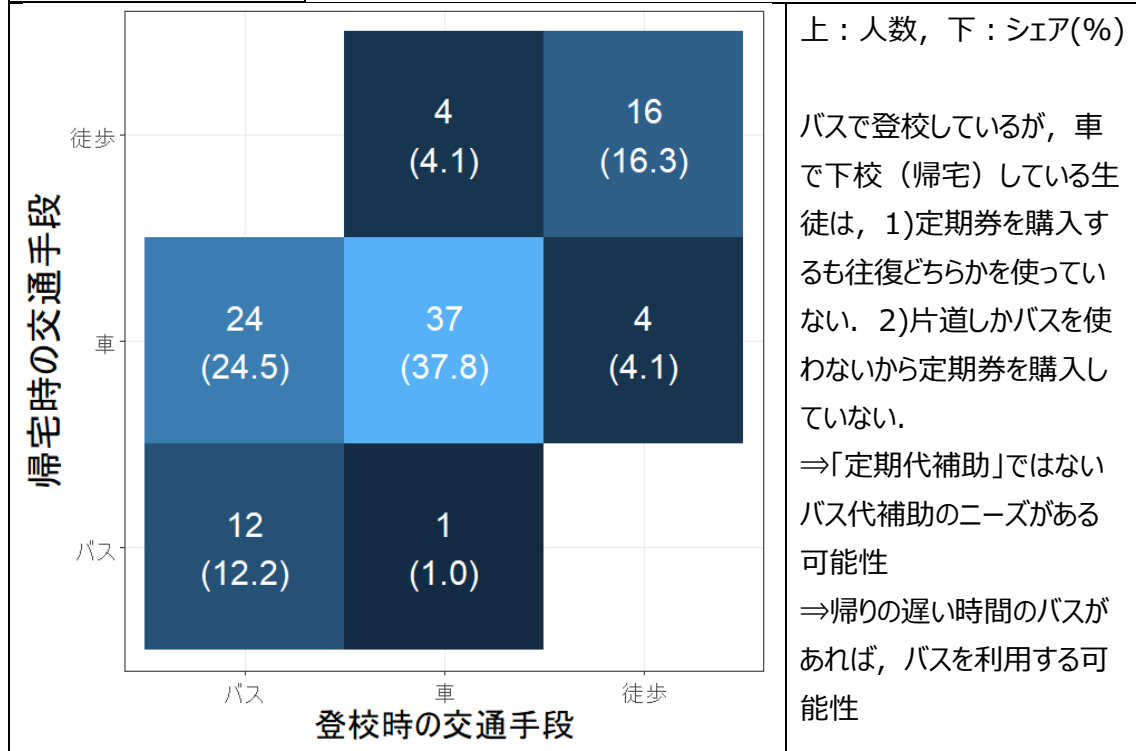
回答いただいた方：98名

ご回答いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

1. 単純集計

1-1. 登下校の交通手段

約 2/3 の生徒が「車」で帰宅している。全体の約 1/4 がバスで登校するが車で帰宅している。



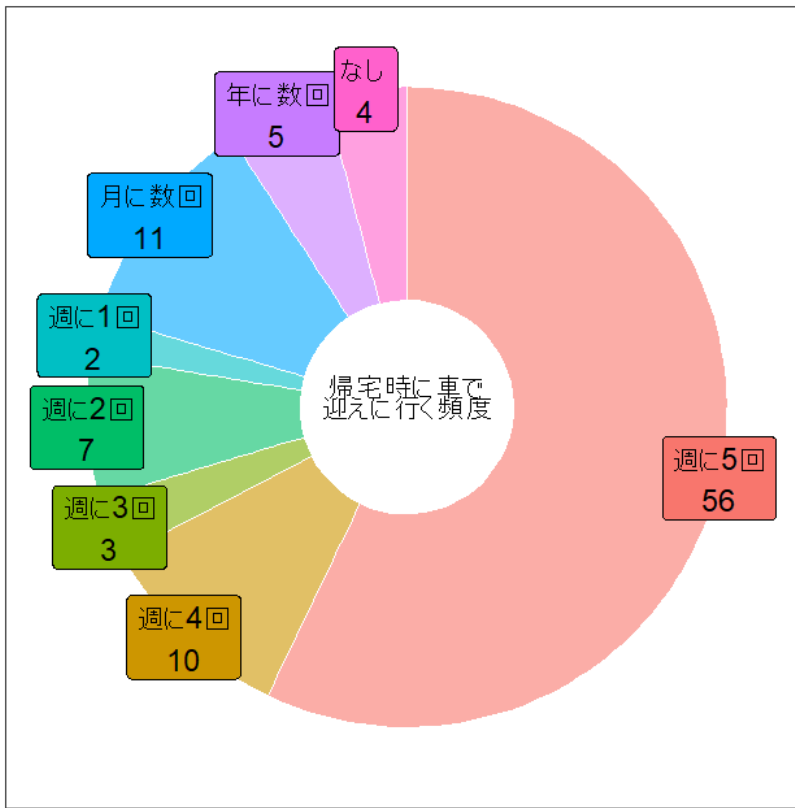
1-2. 平日（登校日）に送迎する人

複数で送迎をしている生徒が半数。登下校において母親の負担が大きい。
 若者・子育て世代の移住定住戦略として登下校の送迎サービスも重要。

<p>登校時</p>	<p>登校時 車で送る人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>送迎者</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>両親他</td> <td>38</td> <td>(42.2)</td> </tr> <tr> <td>母</td> <td>34</td> <td>(37.8)</td> </tr> <tr> <td>父</td> <td>13</td> <td>(14.4)</td> </tr> <tr> <td>祖父母</td> <td>5</td> <td>(5.6)</td> </tr> </tbody> </table>	送迎者	人数	割合	両親他	38	(42.2)	母	34	(37.8)	父	13	(14.4)	祖父母	5	(5.6)
送迎者	人数	割合														
両親他	38	(42.2)														
母	34	(37.8)														
父	13	(14.4)														
祖父母	5	(5.6)														
<p>帰宅時</p>	<p>帰宅時車で 迎えに行く人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>送迎者</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>両親他</td> <td>49</td> <td>(52.1)</td> </tr> <tr> <td>母</td> <td>32</td> <td>(34.0)</td> </tr> <tr> <td>父</td> <td>10</td> <td>(10.6)</td> </tr> <tr> <td>祖父母</td> <td>3</td> <td>(3.2)</td> </tr> </tbody> </table>	送迎者	人数	割合	両親他	49	(52.1)	母	32	(34.0)	父	10	(10.6)	祖父母	3	(3.2)
送迎者	人数	割合														
両親他	49	(52.1)														
母	32	(34.0)														
父	10	(10.6)														
祖父母	3	(3.2)														

1-3. 平日（登校日）の帰宅時に車で迎えに行く頻度

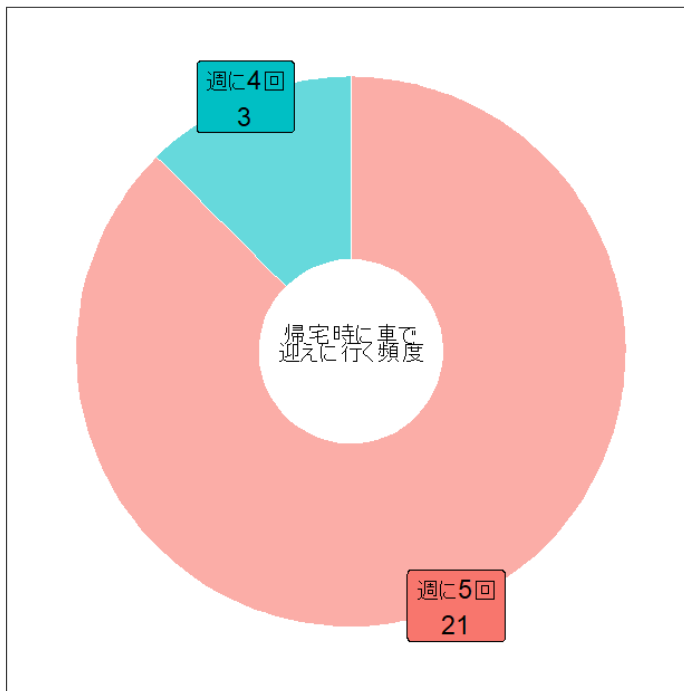
約 3/4 の生徒は週 1 回以上車で迎えに来てもらっている



意見：この質問では平日のみとなっているので送迎は週 5 日になっているが、実際には土曜、祝日も部活があるので週 6 の送迎をしている

図の数字は人数。合計は 98 名なので数字はほぼシェアを表す。

登校はバス、帰宅は車という生徒 24 名の送迎頻度

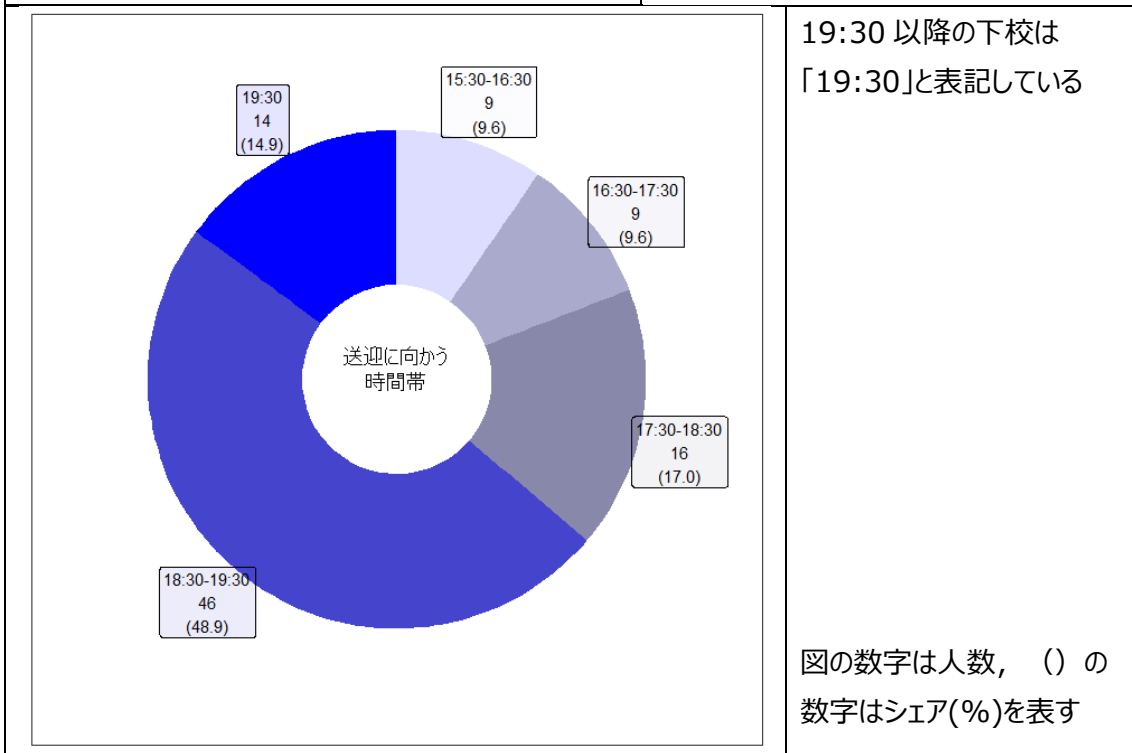


24 名全員が週 4 日以上車で送迎されている

数字は人を表す

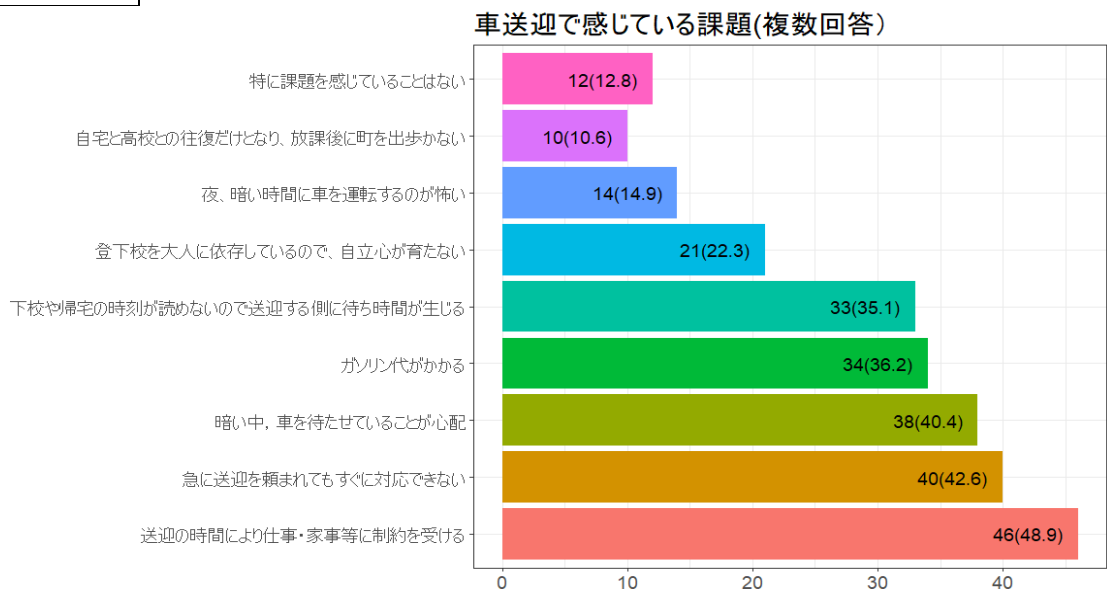
1-4. 平日（登校日）の帰宅時に子どもを車で迎えに行く時間帯

約 6 割が 18:30 以降に子どもを車で迎えに行っている



1-5. 登下校時の車送迎の課題（複数回答）

仕事や家事の制約や急な呼び出しに課題を感じている方が多い。これらが、仕事の生産性を下げている可能性がある。また家事が非効率になることで主婦や主夫のストレス・不満になっている可能性がある。



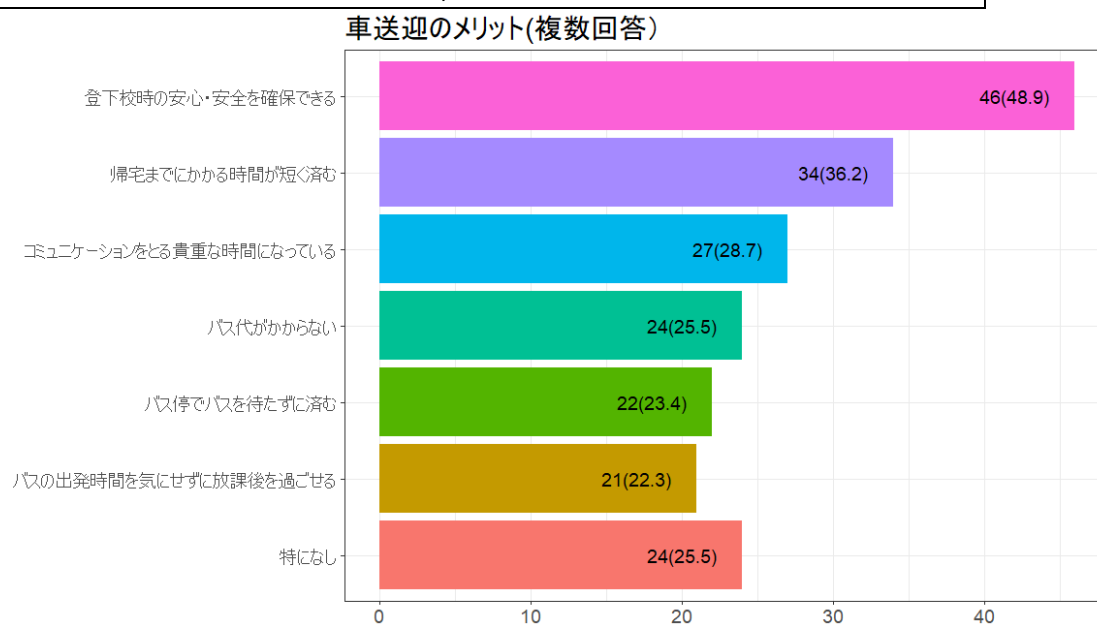
数字は人数，（）の数字はシェア(%)

その他の意見

- ・帰宅時間にバスがない
- ・送迎用の駐車場がない
- ・冬場の運転はこわい
- ・冬場に向かい、さらに道路状況が悪い中の送迎は負担が大きい
- ・バス定期を購入するも、ほぼ乗らない状態
- ・暗い中まちなか鳳雛塾まで歩かせるのが心配なので車で送っているが、塾へ送るバスがほしい

1-6. 車送迎のメリット

安全・安心を感じている人が最も多いが、特にメリットを感じていない人も3割弱いる。



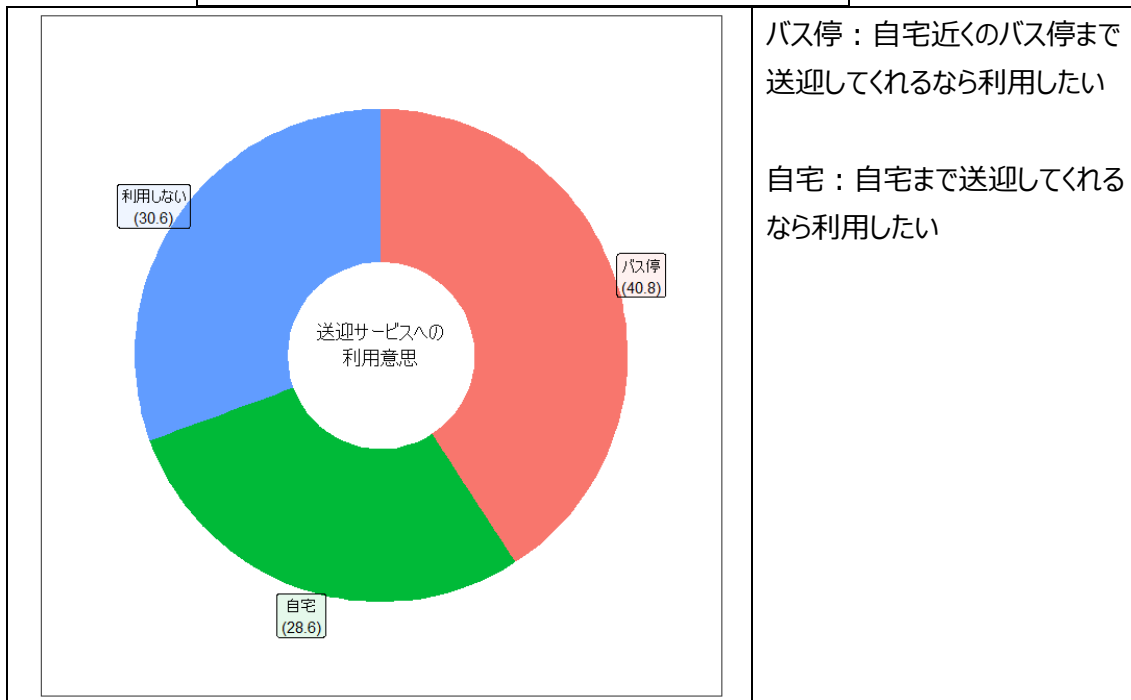
その他の意見

- ・友人との貴重な時間になっている。堤防で過ごす時間など能登高校らしくて素敵だと感じる反面、以前より見守る目がないので心配も同じくらいです。が、能登らしい高校生活を楽しんでもらうためなら労をいとみません。
- ・連絡がとりやすいように放課後は校内でのスマホ使用を許可してほしい。

1-7. 予約制送迎サービスの利用意思と支払い意思

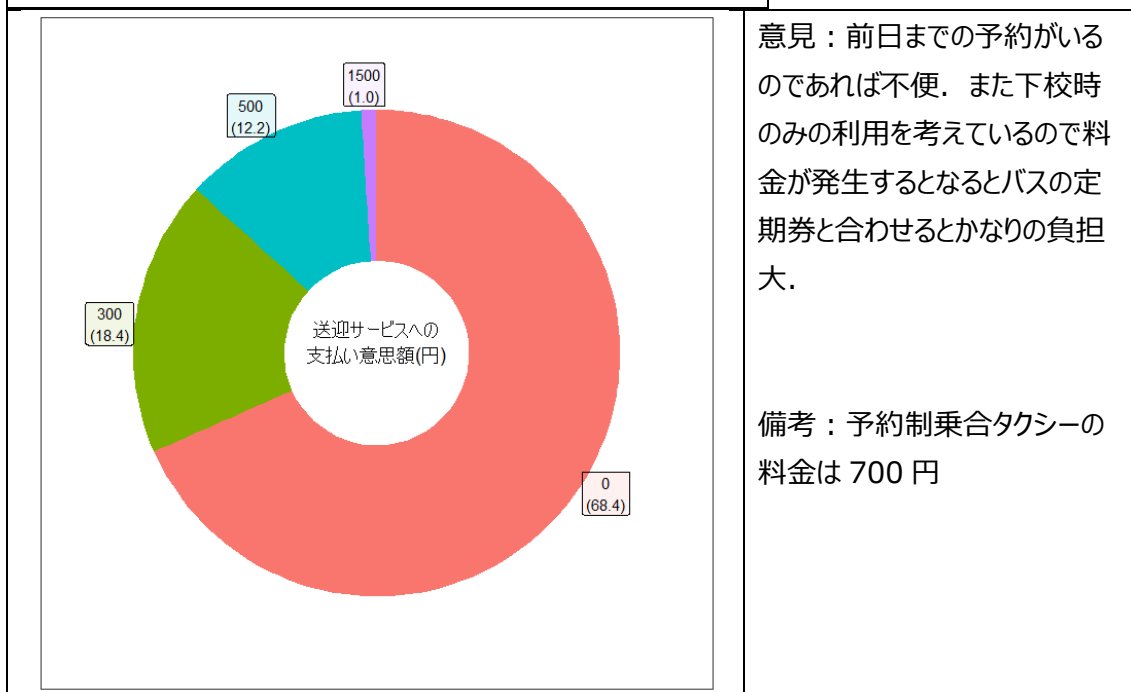
予約制送迎サービス：前日の 19 時まで予約すれば、能登高校や宇出津の街中（宇出津病院前・まちなか鳳雛塾前・能登町役場前あたり）から生徒を送迎

<利用意思> 約 7 割の人は予約制送迎サービスの利用意思はある。



<支払い意思 = いくら支払ってもよいか。数字の単位は円

約 3 割の方が予約制送迎サービスに料金を支払う意思を有する

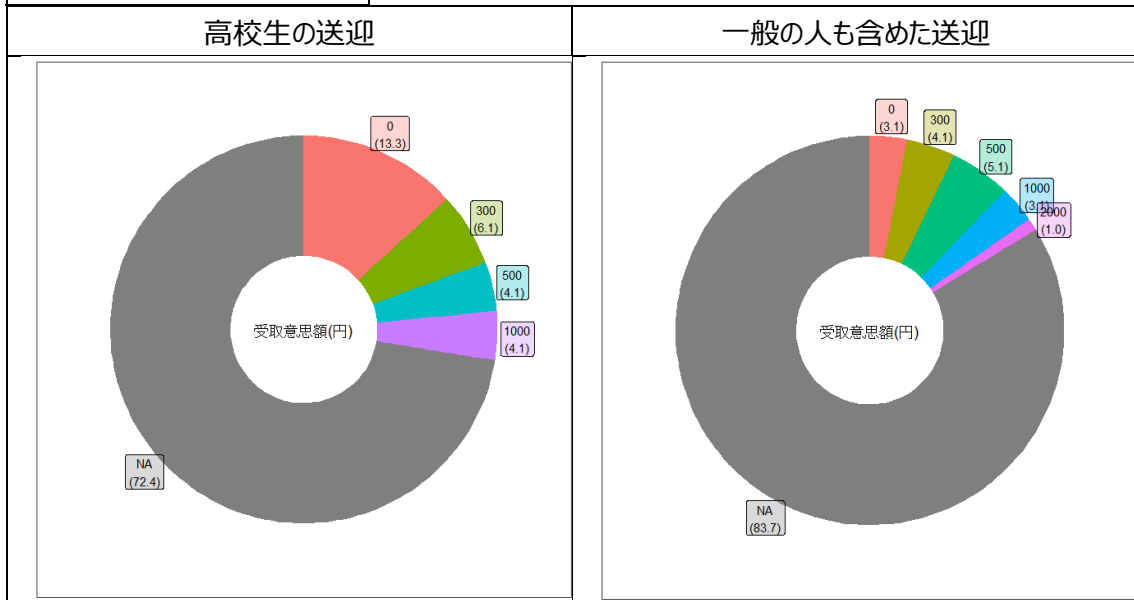


1-8. 予約制送迎サービスのドライバーになる意思

能登高生の送迎に関しては、3割弱の人がドライバーになる意思がある。

高校生のみならず一般の方の移送については、約15%の方がドライバーを担う意思がある。

広く一般に対して意向を聞いてみる価値があるのではないか。また制度が整備できれば有償送迎サービスの導入可能性がある。



数字は、いくら受け取れるなら送迎ドライバーを引き受けてよいかという金額(円)を表す。0(円)は「運賃をもらわなくても引き受ける」ということを表す

意見：ついでなら、という感覚で乗せていくのは全然抵抗はありませんが、事故やトラブルなどを考えると怖いかもしれません

1-9. その他のご意見

<バスについて>

【運行本数】

- ・もう少しバスの運行本数を増やしてほしい (5人)
- ・せめて30分に1便くらいバスが運行してくれればいいなと思う
- ・バスの運行回数を地震前くらいに増やしてほしい
- ・下校時のバスの運行を増やしてほしい。部活を最後までしようとすると間に合わない。

【運行時間帯】

- ・(再掲) 下校時のバスの運行を増やしてほしい 部活を最後までしようとすると間に合わない
- ・帰宅時のバスの運行時刻が合わなくて困っている
- ・帰りのバス(5時以降)を増やしてほしい 部活動終了後にもバス運行してほしい

・部活が終わってから乗られる時間帯のバス

・バスの運行回数が増え、19:30くらいに高校からのバスがあれば、バスを利用する

・部活の終わる時間帯のバスが今はない。なので保護者の迎えは必須になっている。休日**も**バスの便は悪い。珠州方面にはバスがあるが、穴水方面には少ないように思う。

・ただでさえ不便だった生活が震災や豪雨以降更に不便になったまま。柳田方面へ向かう**最終バス**は16時台なのでほぼ利用できない 普段から親の送迎が無ければ何処へも出かけることができな**い**地域なので、高校生のバス通学は友達との時間や社会性を経験するための大切な時間だと思うこと、親の都合で送迎の時間を子供も親に合わせなければならず、部活を早く切り上げたりしているので、思いっきり部活をさせてあげたいと感じる せめて18時半に能登高発のバスがほしい

・バスが朝1便と、午後14時くらいしかないため、親がいないと、日中の移動手段がまったくなくて困っている。10時くらいと12時くらいにバスか送迎サービスがあれば、休みの日の開塾時間や部活の活動時間に間に合うので助かる

【土日祝日】

・（再掲）バスが朝1便と、午後14時くらいしかないため、親がいないと、日中の移動手段がまったくなくて困っている。10時くらいと12時くらいにバスか送迎サービスがあれば、休みの日の開塾時間や部活の活動時間に間に合うので助かる

・（再掲）部活の終わる時間帯のバスが今はない。なので保護者の迎えは必須になっている。休日**も**バスの便は悪い。珠州方面にはバスがあるが、穴水方面には少ないように思う。

・土日の部活終わりのちょうど良いバス時間があると嬉しい 最終バスがもう少し遅くまでであると塾終わりに利用することができる

【テスト期間等、短縮時間割のときの対応】

・テスト時など早く下校する時間に合わせたバスがあるとよい（予約制乗合タクシー）

・部活後またテスト時など早く帰られる時の帰りにバスがあると良い（予約制乗合タクシー）

【塾利用後】

・（再掲）土日の部活終わりのちょうど良いバス時間があると嬉しい 最終バスがもう少し遅くまでであると塾終わりに利用することができる

【安全面】

・暗い時間にバス停で待ってる子を見かけると心配になるので、校門の前とか、もっと学校の側など、目の届く所に変わればよいのかと思う。カメラだけでは不安。

【子どもの発達への影響危惧】

・（再掲）ただでさえ不便だった生活が震災や豪雨以降更に不便になったまま。柳田方面へ向かう

最終バスは 16 時台なのでほぼ利用できない。普段から親の送迎が無ければ何処へも出かけることができない地域なので、高校生のバス通学は友達との時間や社会性を経験するための大切な時間だと思うことと、親の都合で送迎の時間を子供も親に合わせなければならず、部活を早く切り上げたりしているので、思っきり部活をさせてあげたいと感じる。せめて 18 時半に能登高発のバスがほしい。

【その他】

- ・バスのダイヤがとてもわかりにくい、バス停の時刻表に変更が反映されていないことがある
- ・停留所に扉などあると風よけになっていいように思う
- ・雪などでバスが遅れる時の連絡

<保護者が望む送迎サービス>

【部活動のあと・テスト期間・土曜登校等 →帰宅が夕方ではないとき】

- ・土日祝日の部活動のときの送迎(3名)
- ・平日や土曜日、長期休暇中の部活動の登下校時、スクールバスが利用できれば、安心して通学でき、すごく助かる
- ・もともとバスの利便性がない瑞穂地区には不要な問題ではあると思います。仕方なく仕事に支障をきたしながら毎日の送迎はかなり負担ではあります。町が何かしようとしているのであれば、小・中のスクールバスを活用して高校生も乗れるようにして頂けると合理的な気がします。各部活に加入している生徒が充実した部活動ができ、土スク・テスト等による変則的な登校・帰宅に合わせた送迎をしていただけるとありがたい限りです。過疎化で、利用率は少ないかと思われませんが、子供だけでなく町民とともに利用できるのであればより望ましいと思います
- ・平日や土日祝の部活動の下校バスがないため、本当に不便さを感じています。中学校や小学校と合わせたスクールバスの利用、時間が合わなければ、必要な時間帯に中学校等のスクールバスを借りるとかできれば、と思います。運転手の問題はあるかと思いますが。

【オンデマンドニーズ】

- ・緊急時のみでよいので、自宅近くのバス停までの送迎をしてほしい。
- ・高校生自身が LINE で「今送迎してほしい」と送ればすぐ来てくれる
- ・バス通学の子供たちはきつとバスの時間等で不便だと思うので、なにかしらバスの代わりの交通手段があると助かる

【高校のスクールバス】

- ・スクールバスを運行してほしい(3名)
- ・平日や土曜日、長期休暇中の部活動の登下校時、スクールバスが利用できれば、安心して通学でき、すごく助かる

・冬季は祖父母等の運転は危険なので、バス停から自宅付近迄のスクールバス運用を連携させてほしい

【小中学校スクールバスの利用、連携】

- ・中学のスクールバスも利用できるとありがたい
- ・（再掲）平日や土日祝の部活動の下校バスがないため、本当に不便さを感じています。中学校や小学校と合わせたスクールバスの利用、時間が合わなければ、必要な時間帯に中学校等のスクールバスを借りるとかできれば、と思います 運転手の問題はあるかと思いますが
- ・（再掲）もともとバスの利便性がない瑞穂地区には不要な問題ではあると思います。仕方なく仕事に支障をきたしながら毎日の送迎はかなり負担ではあります。町が何かしようとしているのであれば、小・中のスクールバスを活用して高校生も乗れるようにして頂けると合理的な気がします。各部活に加入している生徒が充実した部活動ができ、土スク・テスト等による変則的な登校・帰宅に合わせた送迎をしていただけるとありがたい限りです 過疎化で、利用率は少ないかと思われませんが、子供だけでなく町民とともに利用できるのであればより望ましいと思います

【高校から塾への送迎】

- ・学校から塾までの送迎があればいいなと思っています。冬場の暗い道を歩かせるのが心配なので。

【その他】

- ・コミュニティバス
- ・各エリアで事情は異なるかと思いますが、基本はバス停起点でよいかと思います。そこからは匙加減で。おそらく、ドライバーの男女なども気にされる方がいらっしゃると思いますが、物理的な距離の懸念に考慮いただきありがとうございます。
- ・送迎システムが実用化してから改善策を検討したい

- ※高校生にとっての公共交通（バス）の利便性（本数・運行時間）に不満が募っている
- ※多くの高校生が下校する時間帯（17時台～19時台）に公共交通（バス）の運行がないことに対して改善要望が集まっている
- ※公共交通（高校生の送迎）に「個別最適化＝オンデマンドサービス」を求める声が多数挙がっている
- ※町立小中学校のスクールバスへの高校生の混乗を希望する声がある（←路線バスの代替ではなく、路線バスが設定されていない時間帯やエリアを補完するための要望）
- ※暗い中でのバス待ち、高校から塾への徒歩移動を不安に感じている声がある（←公共交通の充実だけが解とは言えない）
- ※予約制送迎サービスについてはまだ具体的な説明がないので意見を出すまでに至っていない

コラム1 能登高校 日課時限表（2024年11月12日現在）

【通常】	月曜・金曜	火曜・水曜・木曜
朝 SHR	8:25～8:35	8:25～8:35
第1限目	8:40～9:30	8:40～9:30
第2限目	9:40～10:30	9:40～10:30
第3限目	10:40～11:30	10:40～11:30
第4限目	11:40～12:30	11:40～12:30
第5限目	13:15～14:05	13:15～14:05
第6限目	14:15～15:05	14:15～15:05
第7限目	—	15:15～16:05
帰 SHR	15:05～15:10	16:05～16:10
清掃	15:10～15:30 頃	16:10～16:30 頃
完全下校	19:00	19:00

【45分授業】	月曜・金曜	火曜・水曜・木曜
朝 SHR	8:25～8:35	8:25～8:35
第1限目	8:40～9:25	8:40～9:25
第2限目	9:35～10:20	9:35～10:20
第3限目	10:25～11:15	10:25～11:15
第4限目	11:20～12:10	11:20～12:10
第5限目	12:55～13:40	12:55～13:40
第6限目	13:50～14:35	13:50～14:35
第7限目	—	14:45～15:30
帰 SHR	14:35～14:40	15:30～15:35
清掃	14:40～15:00 頃	15:35～15:55 頃
完全下校	19:00	19:00

【考查期間】	
朝 SHR	8:25～8:35
第1限目	8:40～9:30
第2限目	9:45～10:35
第3限目	10:50～11:40
帰 SHR	11:40～11:50

コラム2 北鉄奥能登バス時刻表（2024年11月12日現在）

能登高校南 発着

路線	町野		宇出津珠洲 A (小木経由)		宇出津珠洲 B (十八束経由)	
	能登高校南発	大川発	能登高校南発	すずなり館前発	能登高校南発	すずなり館前発
行き先	大川行	能登高校南行	すずなり館前行	能登高校南行	すずなり館前行	能登高校南行
6時	(16)		50			
7時					15	
8時		04	45	08		04
9時					00	54
12時	30					
14時		49	00		30	
15時				48		54
16時	25					
18時		(39)	00	48	10	54

()は日祝休 町野方面は 16:25, 珠洲 (小木経由) 方面は 18:00、珠洲 (十八束経由) 方面は 18:10 が最終

能登町役場前 発着

路線	穴水珠洲 C (特急接続)		穴水宇出津 B		穴水宇出津 C	
	穴水駅前発	すずなり館前発	穴水総合病院発	能登町役場前発	能登瑞穂発 穴水駅前発	能登町役場前発
行き先	すずなり館前行	穴水駅前行	能登町役場前行	穴水総合病院行	能登町役場前行	穴水駅前行
7時		07			(12)58	
9時		37		00		
10時	20					
11時		07				
13時	20	07		30		
15時	00		50			
16時	30	57			48	40
18時	50					

()は日祝休 能登町役場に 18:50 まで来ることができれば すずなり館前行きのバスがある。

【登校時】 ●:能登高校南着 ▲:能登町役場前着

町野・柳田方面から→●8:04 着
 珠洲・松波・小木方面から→●8:08 着
 珠洲・松波・十八束方面から→●8:04 着
 穴水・瑞穂方面から→▲7:58 着

【帰宅時】 ●:能登高校南発 ▲:能登町役場前発

柳田・町野方面へ→●16:25 発
 小木・松波・珠洲方面へ→▲16:30 発、●18:00 発、▲18:50 発
 十八束・松波・珠洲方面へ→●18:10 発
 瑞穂・穴水方面へ→●16:40 発

コラム3 能登町予約制乗合タクシー

- ・1日5便、行き（おでかけ2便）は自宅から宇出津まで、帰り（おかえり3便）は宇出津病院から自宅まで。2つのタクシー会社で運行。
- ・行きの予約は前日(平日)の16:00までに、帰りは乗る1時間前までに、電話で予約。
- ・利用できる方：能登町民で乗合タクシー会員（登録制）。一人で乗り降りできる方
- ・700円/回 実際の運賃との差額は町が負担。1日約20人が利用
- ・利用目的：通院が多く、買物などにも使われる。

https://www.town.noto.lg.jp/www/info/detail.jsp?common_id=21116

→行き（おでかけ2便）は宇出津8:30頃着、10:00頃着なので、能登高校の登校時刻に間に合わない

→帰り（おかえり3便）は宇出津病院前11:30～12:00発、13:00～13:45発、15:00～15:30発なので、能登高校の下校（帰宅）時には利用できない

おでかけ便 (自宅から宇出津へ)		予約受付は1週間前から 前日の9:00～16:00まで				
便名	上長尾 合鹿 エリア	当日 柳田 エリア	柏木 宮地 鶴町 中斉 エリア	瑞穂 鶴川 三波 うしつ エリア	真脇 小木 白丸 エリア	不動寺 松波 エリア
1便	柳田着8:15a 宇出津到着8:30頃着 (宇出津のどこでも降りられます)					
2便	柳田着9:45a 宇出津到着10:00頃着 (宇出津のどこでも降りられます)					
おかえり便 (宇出津病院前から自宅へ)		予約受付は出発の 1時間前まで				
便名	上長尾 合鹿 エリア	当日 柳田 エリア	柏木 宮地 鶴町 中斉 エリア	瑞穂 鶴川 三波 うしつ エリア	真脇 小木 白丸 エリア	不動寺 松波 エリア
1便	11:30 頃発	11:30 頃発 柳田 11:45頃発	11:45 頃発	11:45 頃発	12:00 頃発	12:00 頃発
2便	13:15 頃発	13:15 頃発 柳田 13:30頃発	13:45 頃発	13:30 頃発	13:30 頃発	13:00 頃発
3便	15:00 頃発	15:15 頃発 柳田 15:30頃発	15:20 頃発	15:30 頃発	15:00 頃発	15:30 頃発

2. 車送迎への認識および予約制送迎サービスについての分析

2-1. 分析の枠組み

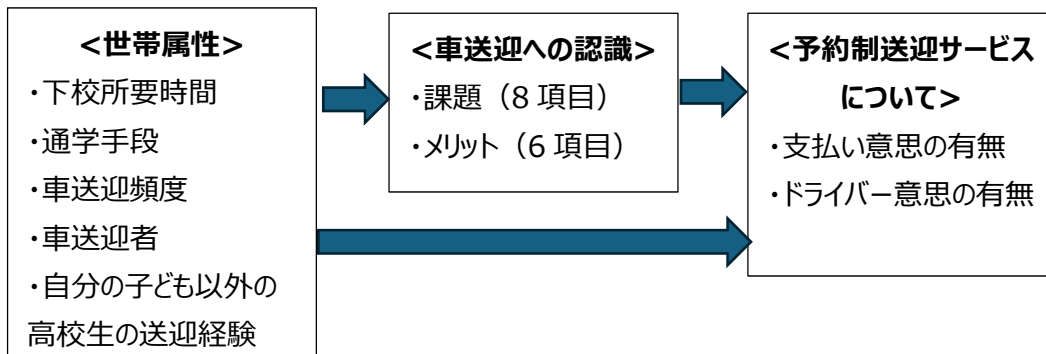


図 分析の枠組み

- (1)車送迎への認識（課題，メリット）について，いかなる世帯属性が影響を与えているかについてロジスティック回帰分析を行った
- (2)予約制送迎サービス（料金支払い意思の有無，ドライバー意思の有無）について，いかなる世帯属性および車送迎への認識が影響を与えているかについて，ロジスティック回帰分析を行った。

※ロジスティック回帰分析

応答変数が0か1のように二値変数の場合に使う分析手法。「参加するか否か」などの場合にも使えますが、「AかBか」のような分類の場面でも使える手法。詳しくは，以下のURLなどを参照してください。 <https://bellcurve.jp/ex/function/logistic.html>

2-2. 車送迎への認識

課題について世帯属性の影響がみられた(有意水準5%で棄却されなかった)項目は「生徒から急に送迎を頼まれてもすぐに対応できない」および「生徒の自立心が育たない」であった。

①「生徒から急に送迎を頼まれてもすぐに対応できない」と答えた人は，下校（帰宅）所要時間が長いほどその割合が高い。

→**遠方から時間をかけて通学している高校生の保護者にとって、帰宅時間が不規則な高校生の送迎は課題である**

②「生徒の自立心が育たない」と答えた人は，長時間バスで通学している人や徒歩で通学しているほどその割合が高い。

→**バスや徒歩で通学している高校生の保護者は、自家用車での送迎は子どもの成長・発達に悪影響があると考えている**

一方，メリットについて世帯属性の影響がみられた項目は「帰宅までにかかる時間が短く済む」およ

び「登下校時の安心・安全を確保できる」であった。

③「帰宅までにかかる時間が短く済む」と答えた人は、長時間バスで通学している人や徒歩で通学しているほどその割合が高い。

→**バスや徒歩で通学している高校生の保護者は、バスではなく車での送迎ができれば帰宅までの時間が短くなり、それをメリットだと捉えている**

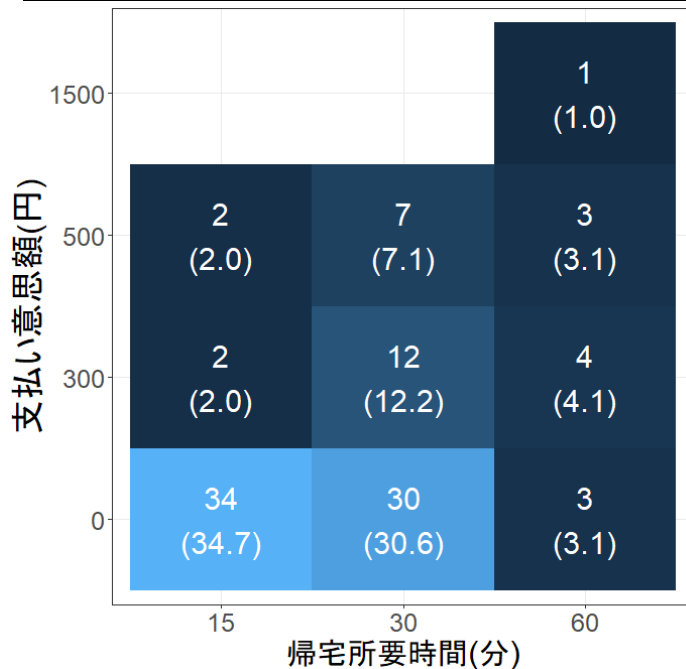
④「登下校時の安心・安全を確保できる」は、下校（帰宅）所要時間が長いほどその割合が高い。

→**遠方から時間をかけて通学している高校生の保護者は、バスではなく車での送迎ができれば登下校時の安心・安全が確保され、それをメリットだと捉えている**

これらはいずれも容易に理解できるものである。

2-3. 予約制送迎サービスへの料金支払い意思

帰宅所要時間が長い人ほど、送迎サービスへの支払い意思がある。



上：人数，下：（）はシェア（%）

2-4. 予約制送迎サービスのドライバーになる意思

・高校生の送迎ドライバー：車送迎の課題として「自宅と高校との往復だけとなり、放課後にお子さまが町を出歩かない」と回答した人およびメリットとして「バス代がかからない」と回答した人がドライバーを引き受ける傾向がみられた。

・一般人も含めた送迎ドライバー：車送迎の課題として「ガソリン代がかかる」と回答した人またメリットとして「登下校時の安心・安全を確保できる」と回答した人がドライバーを引き受けてよい傾向がみられた。

・自分以外の高校生の送迎経験がある方が、ドライバーを引き受けてよいと回答する傾向がみ

られた。

・いずれも課題あるいはメリットとして、バス代やガソリン代を挙げた方がドライバーへの意思を有している点は興味深い。

2-5. まとめ

以上の結果を図に示す。

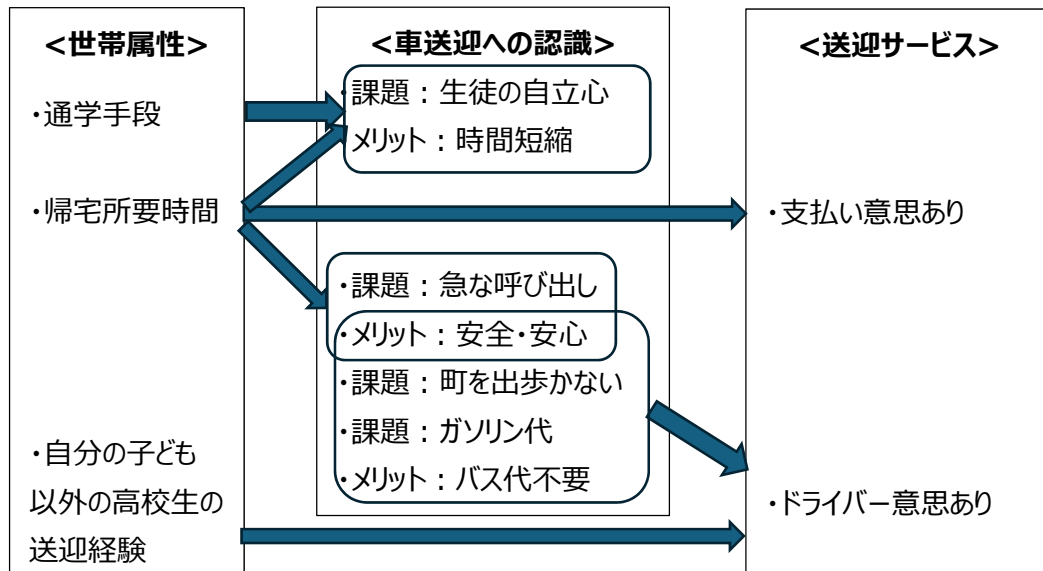


図 分析の結果

3. おわりに

本調査により得られた知見は以下の通りである。

- ・約 3/4 の生徒は週 1 回以上車で送迎されている
- ・家族(2 人以上)で生徒の送迎をしているが半数。母が送迎している生徒が多い
- ・帰宅時間や土日の部活動があるときにバスがないことに不満を持っている方が多い
- ・約 7 割の方が「前日までの予約制送迎サービス」利用を希望する
- ・約 3 割の方が利用料金を支払っても「前日までの予約制送迎サービス」を利用したいと回答している
- ・事故発生時の保険や補償制度の説明がほぼない状態でも 3 割弱が「高校生を送迎したい」と回答している
- ・事故発生時の保険や補償制度の説明がほぼない状態でも、かつ子育てに忙しい保護者世代でも、15%ほどが高校生のみならず一般の人も含めて送迎する意思があると回答している
- ・(予約不要な)送迎サービスを求める意見が多い(夜, 土日, 冬季)

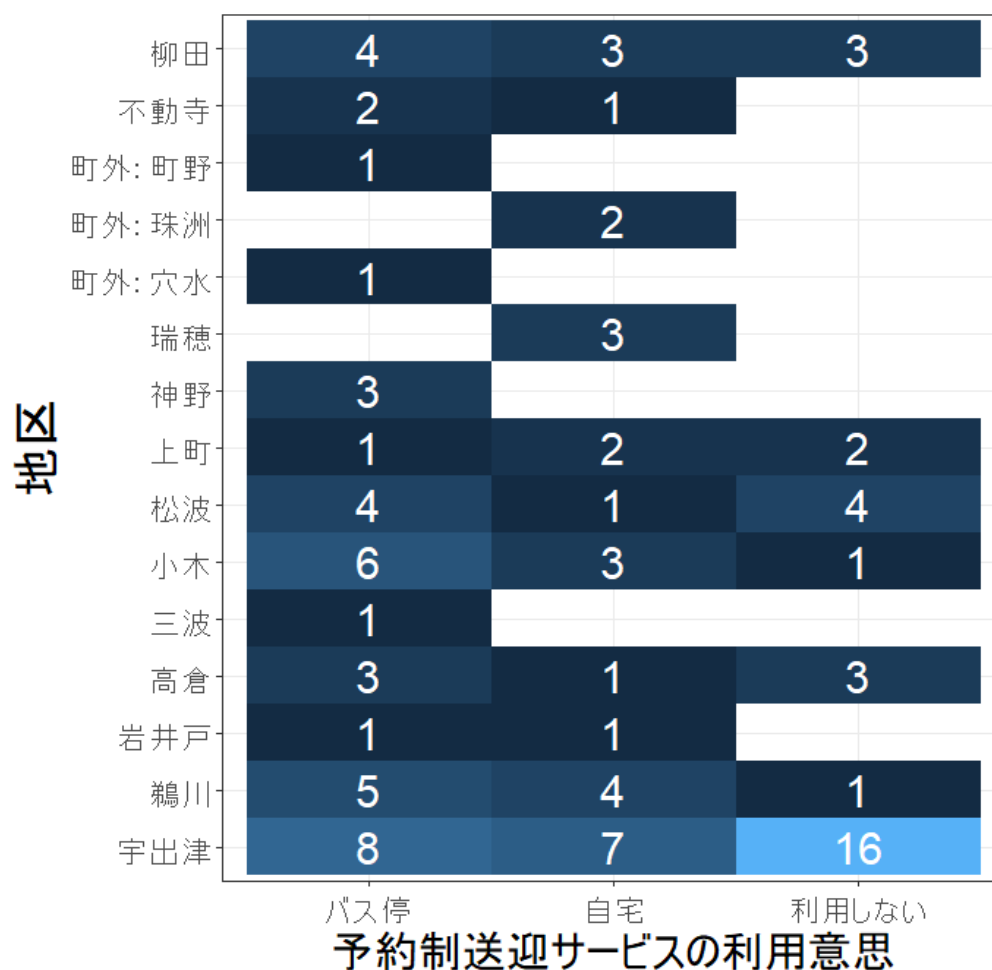
本調査の課題：生徒の部活や塾など平日放課後・土日の活動また保護者がどの場所から送迎に向かっているのかなどもわかると結果の解釈がよりクリアになった可能性がある。

高校における検討事項：乗車場所／校内（放課後）でのスマホ使用ルール／塾と高校間の安心安全な移動手段

町における検討事項：帰宅時間に合わせた路線バスの増便あるいは運行時刻変更の要望／町内小中学校のスクールバスの活用可能性／高校生の帰宅時間に合わせた乗合タクシーの増便や出発場所の変更／予約制送迎サービスのドライバーおよびその財源確保

付録

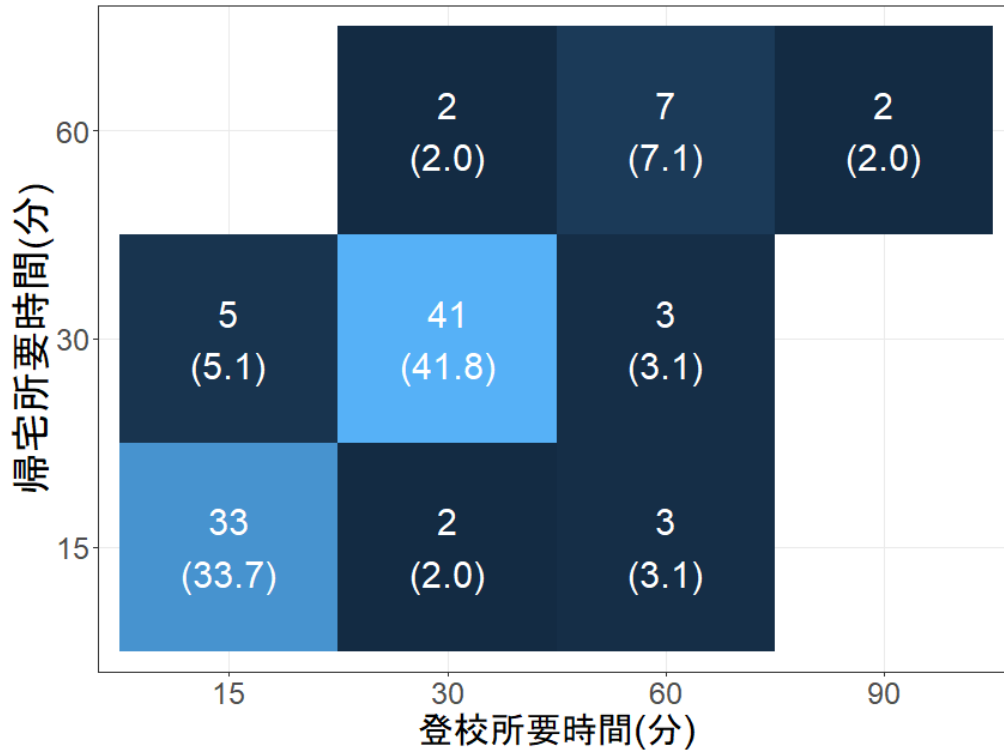
回答者の地区別予約制送迎サービス利用意思



バス停：自宅近くのバス停まで送迎してくれるなら利用したい

自宅：自宅まで送迎してくれるなら利用したい

登下校に要する所要時間に関するクロス集計（人数と割合）



事故発生時の保険や補償についての制度が整備され1回あたりの送迎運賃が定められた場合
自分の子ども以外の高校生および一般の方の送迎意思に関するクロス集計（人数と割合）

